

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語V	平成22年度	松尾 江津子	5	通年	学修単位 2	必

[授業のねらい]

英語 I, II, III, IV で得た英語の知識技能を活用して、様々な分野の英文を読み進めながら、総合的な英語運用力を伸長することを目指す。また、広い視野と、的確に情報を受信・発信する基礎力を養うことをねらいとする。

[授業の内容]

全ての週の内容は、学習・教育目標(A) <視野> (C) <英語> および JABEE 基準 1(1) (a), (f) の項目に相当する。

【前期】

- 第1週 Introduction (授業概要、成績評価方法等)
- 第2週 Unit 1: One Laptop Per Child
Gerunds vs. Infinitives
- 第3週 Unit 2: Green Profits
Adverb Clauses
- 第4週 Unit 3: Well-Loved Pets
Adjectives + Prepositions
- 第5週 Unit 4: Italy's Fashion Kings
Elsewhere, Everywhere, and Nowhere
- 第6週 Unit 5: Viral Marketing
Prepositions of Place
- 第7週 Review
- 第8週 中間試験
- 第9週 中間試験の復習
- 第10週 Unit 6: The NBA Goes Global
Verb Form
- 第11週 Unit 7: The Gossip Media
However, Wherever, and Whatever
- 第12週 Unit 8: Replanting the World's Forests
Adjectives vs. Adverbs
- 第13週 Unit 9: Adventure Tourism
Besides, Rather, and Along
- 第14週 Unit 10: The Cannes Film Festival
Pronouns
- 第15週 Review

【後期】

- 第1週 定期試験の復習
- 第2週 Unit 11: Giving Away Billions
Adjective Clauses
- 第3週 Unit 12: Computer Actors
The Passive Voice
- 第4週 Unit 13: New York City
Quantifiers
- 第5週 Unit 14: Fresh Water: A Growing Crisis
Word Forms
- 第6週 Unit 15: Exporting Culture
Every, Any, and All
- 第7週 Review
- 第8週 中間試験
- 第9週 中間試験の復習
- 第10週 Unit 16: Aging Populations
To, For, and With
- 第11週 Unit 17: The Power of YouTube
Noun Clauses
- 第12週 Unit 18: Credit-Card Slaves
Adjective vs. Adverbs
- 第13週 Unit 19: Yoga
Singular vs. Plural
- 第14週 Unit 20: Crime-Fighting Scientists
Be, Been, and Being
- 第15週 Review

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
英語Ⅴ（つづき）	平成22年度	松尾 江津子	5	通年	学修単位2	必

<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. 各章で取り上げられる英文の内容を理解できる。</p> <p>2. 各章で扱われる音声による英文を理解できる。</p> <p>3. 各章で取り上げられる英語の語彙や熟語の意味を理解し、使用できる。</p>	<p>4. 各章で取り上げられる英語を使って簡単な英作文ができる。</p> <p>5. 各章の英文が扱う主題について、自ら考え、意見を簡単な英語で表現できる。</p> <p>6. 3000語レベルの英語語彙の意味が理解できる。</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>英文の内容を理解し、使用されている語彙、語法、慣用表現を理解するとともに基本的なものをを用いることができる。現代社会で関心を集めている話題について視野を広げ、自ら理解を深めていくことができる。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>上記の「知識・能力」1～5の習得の度合を中間試験、期末試験、小テスト、課題により評価する。試験問題や課題のレベルは、百点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。「知識・能力」6については、オンライン学習システムを利用した学習結果および筆記テストによって評価する。</p>
<p>[注意事項]</p> <p>規定の単位制に基づき、自己学習を前提として授業を進める。自己学習の成果を評価するために、課題提出や小テストを課するので、日頃から自己学習に励むこと。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]</p> <p>前年度までに既習の語彙・語法・構文知識を前提とする。</p>	
<p>[自己学習]</p> <p>授業で保証する学習時間と、予習・復習（中間試験、定期試験、小テストのための学習も含む）及び課題に取り組むために必要な標準的な学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。</p>	
<p>教科書： <i>Reading Pass 2</i>（南雲堂）</p> <p>補助教材： <i>COCET 3300</i>（成美堂） <i>ALC NetAcademy</i>（アルク）</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>前期中間、前期末、後期中間、後期末の試験結果を70%、小テスト、課題、発表等の評価を30%として学期毎に評価し、これらの平均値を最終評価とする。ただし、前期中間、前期末、後期中間のそれぞれの試験について60点に達していない者には再試験を課し、再試験の成績が該当する試験の成績を上回った場合には、60点を上限としてそれぞれの試験の成績を再試験の成績で置き換えるものとする。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>学校の定める出席要件を満たし、学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語 I	平成 2 2 年度	Mike Lawson	5	前期	学修単位 1	選

<p>[授業の目標]</p> <p>Basing class activities on various cross-cultural themes, the objective of this course is to improve students' practical levels of reading comprehension and English writing ability.</p>	
<p>[授業の内容] The following content conforms to the learning and educational goals: (A) <Perspective> [JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English> [JABEE Standard 1(1)f].</p> <p>Week:</p> <p>1 Introduction to the course: Course structure discussed. 2 Unit 1- Student days: Reading exercises from the text. 3 Unit 2- Studying abroad: Reading exercises from the text. 4 Unit 3- Alternative education: Reading exercises from the text. 5 Unit 4- Talking through problems: Reading exercises from the text. 6 Unit 6- That's our custom: Reading exercises from the text. 7 REVIEW: Review for Exam 1 8 MIDTERM EXAM: This exam tests objective "1" listed in the syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension."</p>	<p>Week:</p> <p>09 Unit 7- Musical memories: Reading exercises from the text. 10 Unit 8- Getting to the top: Reading exercises from the text. 11 Unit 9- Simply amazing: Reading exercises from the text. 12 Unit 10- What makes you happy?: Reading exercises from the text. 13 Unit 11- Help yourself to health: Reading exercises from the text. 14 Unit 12- Think positive!: Reading exercises from the text. 15 REVIEW: Review for exam 2</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. Students will improve their practical level of reading comprehension and their English writing ability.</p>	<p>2. Students will develop their reading comprehension and writing skills from a cross-cultural context, with an emphasis on Western culture. Concepts covered will include: "Student days", "Studying abroad", "Alternative education", "Talking through problems" "International cultural customs", "Musical memories", and "Thinking positively".</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>Students can improve their practical levels of English reading comprehension and English writing ability.</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>Students' levels of practical reading comprehension will be evaluated through the use of two exams (a midterm and exam and a final exam) and 10 reading comprehension exercises. Students' English writing ability will be evaluated through the use of 10 writing assignments. Students will have attained the goals provided that they have earned 60% of the total points possible for this course, which includes 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension homework assignments</p>
<p>[注意事項]</p> <p>Please visit my website (http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/) for information related to this class. Please visit ITO Akira's Internet website "English-Muscle" at http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/ for fun English-learning activities. You may contact me at: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp,</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]</p> <p>A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.</p>	
<p>[自己学習] Students are required to submit 10 homework assignments (These homework assignments test objective "1" listed in syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension") and 10 essays (These writing assignments test objective "2" listed in the syllabus: "Improve their English writing ability"). The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.</p>	
<p>教科書:</p> <p>1. Text: Craven, Miles. <i>Reading Keys (Silver, Book A)</i>. Macmillan Languagehouse. 2003. 2. Subtext: A Japanese-English dictionary and an English grammar guide. 3. Material as distributed in class.</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>Grades will be based on the following percentages: 25% Midterm exam, 25% Final Exam, 25% Essays, 25% Homework.</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論 I	平成 2 2 年度	竹野富之	5	前期	学修単位 1	選

<p>[授業のねらい]</p> <p>グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。</p>	
<p>[授業の内容]</p> <p>全体の週において、教育目標 (A) (視野) (意欲) と、JABEE I (1) (a) 項目に該当する内容を講義する。</p> <p>第 1 週 イントロダクション</p> <p>第 2 週 文化とは何か(1)―西洋人にとっての異文化理解</p> <p>第 3 週 文化とは何か(2)―自民族中心主義について</p> <p>第 4 週 西洋哲学入門(1)―ギリシャ哲学</p> <p>第 5 週 西洋哲学入門(2)―啓蒙思想家</p> <p>第 6 週 西洋哲学入門(3)―近代哲学</p> <p>第 7 週 西洋哲学入門(4)―現代の西洋哲学</p> <p>第 8 週 中間試験</p>	<p>第 9 週 イスラームと欧米社会(1)―イスラームの教義</p> <p>第 1 0 週 イスラームと欧米社会(2)―イスラームの慣習</p> <p>第 1 1 週 イスラームと欧米社会(3)―欧米社会から見たイスラーム</p> <p>第 1 2 週 イスラームと欧米社会(4)―まとめ イスラーム</p> <p>第 1 3 週 何故イスラームと欧米社会は反発しあうのか</p> <p>第 1 4 週 国民国家とは何か(1)―印刷技術の発展と国民意識</p> <p>第 1 5 週 国民国家とは何か(2)―「想像の共同体」</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。</p> <p>2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。</p>	<p>3. 文化研究の方法論を知っている。</p> <p>4. 欧米諸国の文化の源であるキリスト教の影響を理解している。</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>上記の[知識・能力] 1～4 を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各[知識・能力]の重みの目安は1, 2, 4を30%, 3を10%とする。合計点60%の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。</p>
<p>[注意事項] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし。</p>	
<p>[自己学習]</p> <p>授業で保証する学習時間と予習・復習(中間試験と定期試験のための学習も含む)及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が45時間に相当する学習内容である。</p> <p>教科書：なし</p> <p>参考書：適宜紹介</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>前期中間、前期末の2回の試験の平均点を70%, 課題(レポート)30%として評価する。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>与えられたレポートを提出し、学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語 I	平成22年度	川西 笑華 孫 婉芬	5	前期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 近年多くの企業が中国に進出し、英語に次ぐ外国語として、中国語の重要性も増してきている。正確な発音・基本的な文法を習得することにより、中国語による初歩的なコミュニケーションができることを目指す。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標 (A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a)の項目に相当する。

第1週 第1週 中国とは?中国語とは? 簡体字 発音記号
 第2週 ①発音 声調、母音(単母音・複母音)
 第3週 ②発音 nとng 子音(有気音・無気音)
 第4週 ③発音 子音(そり舌音・zi, ci, siの音)
 第5週 ④発音 音韻表 声調変化
 第6週 発音実践練習 数 年月日 時間 年齢 金銭
 第7週 簡単なあいさつと自己紹介
 第8週 前期中間試験

第9週 第1課 述語が形容詞の文 否定と疑問
 第10週 第1課 練習 会話
 第11週 第2課 述語が動詞の文 疑問詞疑問文
 第12週 第2課 練習 会話
 第13週 第3課 “是”と所有の“有” 反復疑問文
 第14週 第3課 練習 会話
 第15週 まとめと復習

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 ピンイン表記を見て発音することができる。
- 2 基本的な単語を聞き取ることができる。
- 3 自分の名前を中国語で発音できる。
- 4 簡単なあいさつの会話ができる。

- 5 基本的な文型(形容詞述語文, 動詞述語文, “是”と所有の“有”の文)が理解し、運用できる。
- 6 疑問文・否定文が理解し、運用できる。

[この授業の達成目標]

中国語の発音表記の仕組みを理解しつつ、1つ1つの音をきちんと発音することができ、また聞き取ることができると同時に、基本的な語順を理解し、簡単な文を作ることができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」]1～6の習得の割合を中間試験, 期末試験, 口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞き、発音練習をする事。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習(中間試験, 定期試験 口答試験)に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間に相当する学習内容である。

教科書: 中国語 縁日はとてもにぎやか(郁文堂)及び配布プリント

参考書: 授業時, 随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%, 口答試験の結果を20%として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題, 提出物を全て提出し, 学業成績で60点以上を取得すること。

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
実用英語Ⅱ	平成22年度	Mike Lawson	5	後期	学修単位1	選

[授業のねらい]

Basing class activities on various cross-cultural themes, the objective of this course is to improve students' practical levels of reading comprehension and their English writing ability.

[授業の内容]

The following content conforms to the learning and educational goals: (A) <Perspective>[JABEE Standard 1(1)(a)], and (C) <English>[JABEE Standard 1(1)f].

Week:

- 1 Introduction to the course: Course structure discussed.
- 2 Unit 13- The business of beauty: Reading exercises from the text.
- 3 Unit 14- A career in fashion: Reading exercises from the text.
- 4 Unit 15- The pressure to look good: Reading exercises from the text.
- 5 Unit 17- Fight for your rights: Reading exercises from the text.
- 6 Unit 18- Staying young: Reading exercises from the text.
- 7 REVIEW: Review for Exam 1

Week:

- 8 MIDTERM: Exam 1: This exam tests objective "1" listed in the syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension."
- 9 Unit 19- Seeing the world: Reading exercises from the text.
- 10 Unit 20- Time for a vacation: Reading exercises from the text.
- 11 Unit 21- Great explorers: Reading exercises from the text.
- 12 Unit 22- Male and female roles: Reading exercises from the text.
- 13 Unit 23- Women fighting back: Reading exercises from the text.
- 14 Unit 24- How different are we?: Reading exercises from the text.
- 15 REVIEW: Review for Exam 2

[この授業で習得する「知識・能力」]

Students will:

1. Improve their practical level of reading comprehension and their English writing ability.

2. Students will develop their reading comprehension and writing skills from a cross-cultural context, with an emphasis on Western culture. Concepts covered will include: "The business of beauty", "A career in fashion", "The pressure to look good", "Fight for your rights", "Staying young", "Seeing the world", "Time for a vacation", "Great explorers", "Male and female roles", "Women fighting back", and "How different are we?"

[この授業の達成目標]

Students can improve their practical levels of English reading comprehension and their English writing ability.

[達成目標の評価方法と基準]

Students' levels of practical reading comprehension will be evaluated through the use of two exams (a midterm and exam and a final exam) and 10 reading comprehension exercises. Students' English writing ability will be evaluated through the use of 10 writing assignments. Students will have attained the goals provided that they have earned 60% of the total points possible for this course, which includes 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension homework assignments

[注意事項]

Please visit my website (<http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/genl/Lawson/>) for information related to this class. Please visit ITO Akira's Internet website "English-Muscle" at <http://www-intra.srv.cc.suzuka-ct.ac.jp/engcom/> for fun English-learning activities. You may contact me at any time at either of the two following email address: lawson@genl.suzuka-ct.ac.jp.

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲]

A good command of basic English syntax; a practical level of reading and listening comprehension, and some ability to converse in English.

[自己学習] Students are required to submit 10 homework assignments (These homework assignments test objective "1" listed in syllabus: "Develop a practical level of reading comprehension") and 10 essays (These writing assignments test objective "2" listed in the syllabus: "Improve their English writing ability"). The total time necessary for students to acquire an understanding of the course is 45 hours, including classroom time and study time outside of the classroom.

教科書: Craven, Miles. *Reading Keys (Silver, Book B)*. Macmillan Languagehouse. 2003.

参考書: Material as distributed in class. A Japanese-English dictionary and an English grammar guide.

[学業成績の評価方法および評価基準]

Students' levels of practical reading comprehension and English writing ability will be evaluated through 2 exams, 10 essay assignments and 10 reading comprehension assignments. Grades will be based on the following percentages: Midterm Exam, 25% Final Exam, 25% Homework, 25% Essays.

[単位修得要件]

Students must obtain at least 60% of the total possible points in order to receive 1 credit.

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
欧米文化論Ⅱ	平成22年度	竹野富之	5	後期	学修単位 1	選

<p>[授業のねらい]</p> <p>グローバル化に適応・対応できるよう異文化理解の重要性を認識させ、違いを受け入れる姿勢を養う。そのために様々な分野から欧米文化の背景や歴史の流れを説明し日本とも比較しながら考察する。</p>	
<p>[授業の内容]</p> <p>全体の週において、教育目標(A)(視野)(意欲)と、JABEE I(1)(a)項目に該当する内容を講義する。</p> <p>【後期】</p> <p>第1週 西洋人のバリ文化理解(1)ーバリ島文化の紹介</p> <p>第2週 西洋人のバリ文化理解(2)ー楽園バリのイメージ</p> <p>第3週 西洋人のバリ文化理解(3)ーオランダによる植民地化</p> <p>第4週 西洋人のバリ文化理解(4)ー観光地産業の発展</p> <p>第5週 遊牧民文化とキリスト教(1)ー遊牧の技術</p> <p>第6週 遊牧民文化とキリスト教(2)ー去勢誘導羊の利用</p> <p>第7週 遊牧民文化とキリスト教(3)ーキリスト教と遊牧</p> <p>第8週 中間試験</p>	<p>第9週 アメリカ合衆国論(1)ープラグマティズム</p> <p>第10週 アメリカ合衆国論(2)ー競争社会、民主主義</p> <p>第11週 9.11以降のアメリカ合衆国(1)</p> <p>第12週 9.11以降のアメリカ合衆国(2)</p> <p>第13週 「文明の衝突」を考える(1)</p> <p>第14週 「文明の衝突」を考える(2)</p> <p>第15週 今後の日本とアメリカ合衆国の関係について</p>
<p>[この授業で習得する「知識・能力」]</p> <p>1. 現在の欧米文化の元となる背景を理解している。</p> <p>2. それぞれの文化のかたち・特色を知っている。</p>	<p>3. 文化研究の方法論を知っている。</p> <p>4. 欧米諸国の文化の源であるキリスト教の影響について理解している。</p>
<p>[この授業の達成目標]</p> <p>言語の重要性を認識し、欧米諸国の背景や歴史を踏まえ、それぞれの文化の具体的な形を理解している。</p>	<p>[達成目標の評価方法と基準]</p> <p>上記の[知識・能力]1～4を網羅した問題を各定期試験とレポートで出題し、目標の達成度を評価する。達成度評価における各[知識・能力]の重みの目安は1, 2, 4を30%, 3を10%とする。合計点60%の得点で、目標の達成を確認できるレベルの試験を課す。</p>
<p>[注意事項] 授業中適宜に課題を与え、レポートを提出してもらう。</p>	
<p>[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] 特になし。</p>	
<p>[自己学習]</p> <p>授業で保証する学習時間と予習・復習(中間試験と定期試験のための学習も含む)及び課題・レポート作成に必要な標準的な学習時間の総計が45時間に相当する学習内容である。</p> <p>教科書：なし</p> <p>参考書：適宜紹介</p>	
<p>[学業成績の評価方法および評価基準]</p> <p>後期中間、学年末の2回の試験の平均点を70%, 課題(レポート)30%として評価する。再試験は行わない。</p> <p>[単位修得要件]</p> <p>与えられたレポートを提出し、学業成績で60点以上を取得すること。</p>	

授業科目名	開講年度	担当教員名	学年	開講期	単位数	必・選
中国語Ⅱ	平成22年度	川西 笑華 孫 婉芬	5	後期	学修単位 1	選

[授業のねらい] 中国語Ⅰに引き続き、基本的文型と文法事項を習得し、簡単な日常会話ができることを目指す。あわせて中国の文化、社会事情を紹介することにより中国語に対する理解をより深める。

[授業の内容] 全ての週の内容は、学習・教育目標 (A) <視野> および JABEE 基準 1(1)(a) の項目に相当する。

第1週 第4課 所在の“在”と存在の“有” 選択疑問文
 第2週 第4課 練習 会話
 第3週 第5課 助動詞—可能 願望 義務 連動文
 第4週 第5課 練習 会話
 第5週 第6課 進行と完了 二重目的語をとる動詞
 前置詞“給”
 第6週 第6課 練習 会話
 第7週 第7課 経験 比較 前置詞“在”“離”“從～到”
 第8週 後期中間試験

第9週 第7課 練習 会話
 第10週 第8課 状態の持続 様態の描写 (様態補語)
 第11週 第8課 練習 会話
 第12週 第9課 方向・結果の複合動詞 (方向補語 結果補語) “在”前置詞“把”
 第13週 第9課 練習 会話
 第14週 第10課 “快要～了” “是～的”
 第15週 第10課 練習 会話

[この授業で習得する「知識・能力」]

- 1 所在の“在”と存在の“有”が理解でき、運用できる。
- 2 助動詞“能”“会”が理解でき、運用できる。
- 3 進行、完了、持続などのアスペクト表現が理解でき、運用できる。

- 4 比較、経験の表現が理解でき、運用できる。
- 5 基本的な単語 (漢字) を見て発音することができる。
- 6 簡単な会話の聞き取りができる。

[この授業の達成目標]

各文法事項を理解し運用でき、中国語で基本的な日常会話ができる。

[達成目標の評価方法と評価基準]

[この授業で習得する「知識・能力」] 1～6の習得の度合を中間試験、期末試験、口答試験により評価する。各項目の重みは同じである。試験問題のレベルは、100点法により60点以上の得点を取得した場合に目標を達成したことが確認できるように設定する。

[注意事項] 教科書付属のCDを繰り返し聞き、発音練習をすること。

[あらかじめ要求される基礎知識の範囲] ピンインを見て発音することができる。基本文型 (形容詞述語文、動詞述語文、是”と所有の“有”の文) が理解できる。)

[自己学習]

授業で保証する学習時間と、予習・復習 (中間試験、定期試験) に必要な標準的な学習時間の総計が、45時間に相当する学習内容である。

教科書：中国語 縁日はとてにぎやか (郁文堂) 及び配布プリント

参考書：授業時、随時紹介する。

[学業成績の評価方法および評価基準] 中間・期末の試験結果を80%、口答試験の結果を20%として、これらの平均値を最終評価とする。再試験は原則として行わない。

[単位修得要件] 与えられた課題、提出物を全て提出し、学業成績で60点以上を取得すること。